







#### コンサルテーション



- 25の経済圏で合計37のIDI(1対1の面接形式によるインタビュー) が実施された
- インタビューの大半は、APNICメンバーまたはアカウントホルダー に対して行われた
- 地域内のステークホルダーを対象に6回実施された
- APNIC NIRメンバー7名全員と面談を実施した



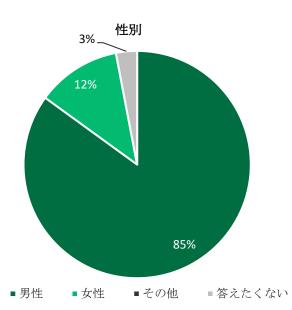
#### 主なインタビュー結果

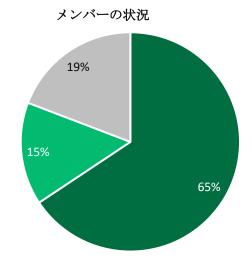
- 新型コロナウイルスは需要、サプライチェーン、労働力に影響を与えた
- インターネットセキュリティ、IPv6 の導入が主な課題として挙げられた
- オンラインによるミーティング、トレーニング、カンファレンス、その他のフォーラムは、「リアル(対面式)」に代わるものとはならない
- APNICは、信頼できる、信用できる、 プロフェッショナルであると評され、 一貫して高評価を得ている
- 小規模国および後発開発途上国への インターネットへの平等なアクセス、 インターネットに関する「次世代」 への教育が重要な課題である

### 定量サンプル

地域	総数	%
東アジア	269	17%
オセアニア	275	17%
東南アジア	454	28%
南アジア	486	30%
非APNIC地域	137	8%
合計	1,621	100%







■ APNICメンバー ■ APNIC地域のNIRメンバー ■ その他のステークホルダー



- 1 APNICのサービスやメンバーシップの質および価値に対するメンバーの評価が向上した
- 4 優秀なインターネット技術者の不足と インターネットセキュリティが最大の 課題である

- 2 新型コロナウイルスは組織に重大な影響を与えたが、将来に対する信頼度は 高い
- 5 セキュリティに焦点を当てたトレーニングコースの増設、他団体とのコラボレーション、セキュリティ脅威インテリジェンスの共有サービスの維持がAPNICが提供できる最善の支援策である
- 3 APNICのほぼすべてのサービスにおいて、 利用率は低下しているものの、満足度 は維持されている
- インフラへの投資と人的資源の育成が、 この地域のインターネット開発におけ る優先分野である



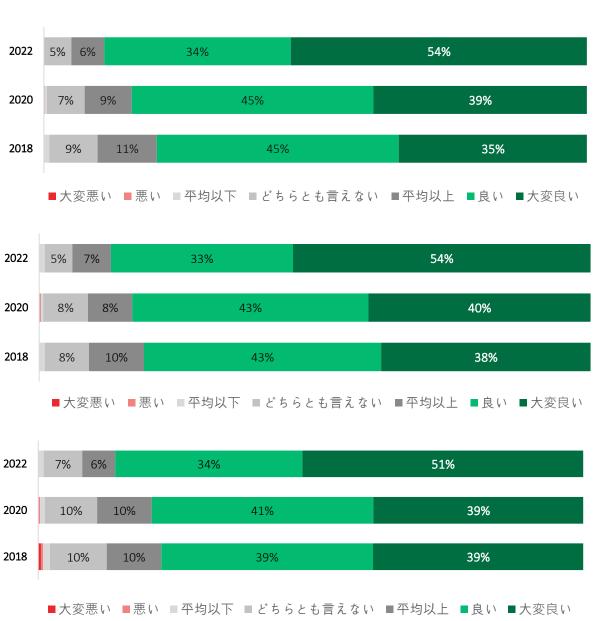


## サービスの満足度

サービスの質

サービスの価値

メンバーシップの価値

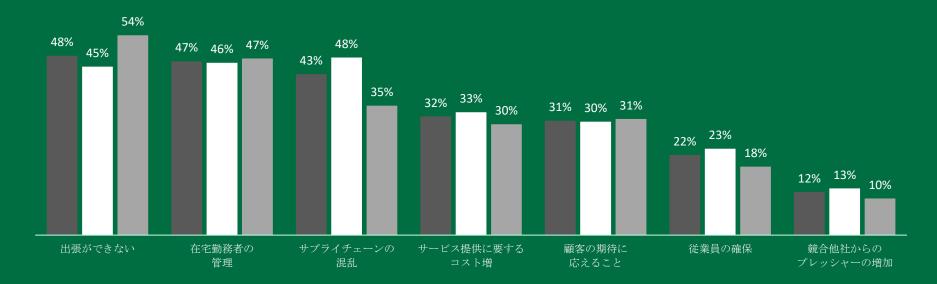


## 新型コロナウイルスの影響

49%

サービスに対する需要が **増加した**と回答 30%

サービスに対する需要が **減少し**たと回答

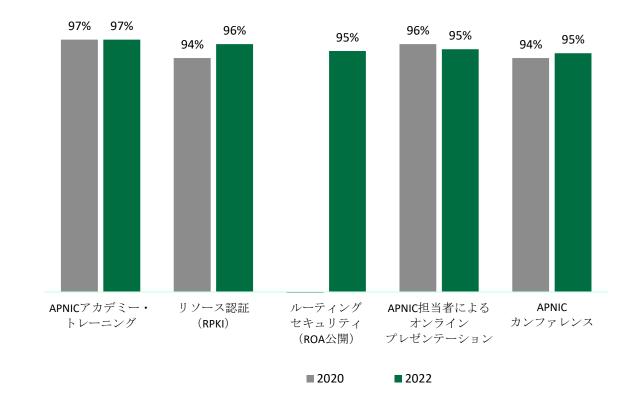


■合計 ■メンバー ■ステークホルダー

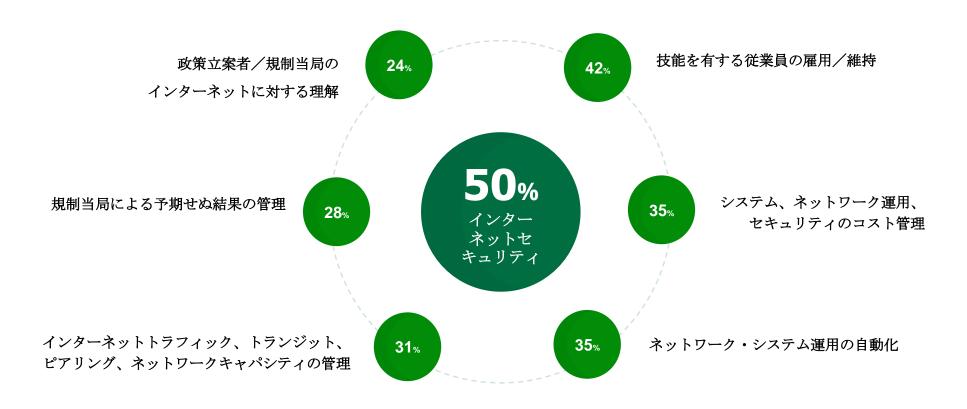


# 最高評価を獲得したAPNICの サービス

新型コロナウイルスの 影響により一部のサー ビスの利用率が低下し たものの、高い満足度 が維持されている



# 戦略上・経営上の最大の 課題



### APNICができる支援 とは?

圧倒的多数のメンバーが、トレーニングや 教育を継続的に提供することが最も良い支 援策であるという意見を述べた



#### トレーニング

**35% IPv6**に関する応用トレーニングを含む、トレーニングの提供

#### ケーススタディ

**11%** ケーススタディ、ベストプラクティスを紹介するビデオ、ブログ等を希望

#### セキュリティ

**8%** インターネットセキュリティに関するトレーニングの提供(攻撃への対処法も含む)

#### 認識

**6%** インターネットに関する政府 へのさらなる教育・啓蒙を要望

# インターネット 開発における 優先的投資分野

インターネットインフラへの投資、 特にバックボーンネットワークや海 底ケーブルへの投資は多くの人々に とって重要である

新任ネットワークエンジニアへの技 術トレーニングも重要な課題である



#### インフラ投資

このうち46%がバックボーンネットワーク への投資を希望し、43%がピアリングを、37%が中立的なIXPを優先している



#### 人的資源の育成

ネットワークエンジニアへの技術トレーニングにおける投資については、メンバーの59%が優先事項としている。その他、APNICによる奨学金やインターンシップを希望する人が38%、次世代のネットワークエンジニアのためのフェローシップを希望する人が35%である

# 結論



- この2年間は困難な期間ではあったが、APNICによるサービスの質と価値に対するメンバーおよびステークホルダーの満足度は非常に高いまま維持
- メンバーが抱える課題はより複雑化しており、経時的にモニターしていく必要がある
- ・ インターネットアクセスの需要が高まる中、容量や帯域幅の QoS管理を提供する能力は多くの人々にとって課題である
- 地域内に優秀なIT人材が不足していることも問題である
- より高度な応用トレーニングを含む継続的なトレーニング、および実地型のワークショップやフォーラムが求められている
- 「次世代」のネットワークエンジニアへのさらなる教育も効果 的である